

2014年10月1日

**「復興応援 キリン絆プロジェクト」、
「釜石六次化研究会」（岩手県釜石市）に支援金を助成
～ “生産から食卓までの支援” をテーマに、
「釜石オープンキッチンプロジェクト」を応援～**

キリンビールマーケティング株式会社（社長 布施孝之）は、岩手県釜石市「釜石六次化研究会」（会長 宮崎洋之）に対し、「釜石オープンキッチンプロジェクト」への支援金として総額 3,000 万円を日本財団（会長 笹川陽平）の協力のもと 10月1日（水）に助成します。これは、キリングroupで展開している「復興応援 キリン絆プロジェクト」の一環として、被災地の水産業復興に向け、水産物のブランド育成支援、6次産業化に向けた販路拡大支援や将来に向けた担い手・リーダーの育成支援を行うものです。

今回の助成は、釜石市内の食品製造・加工会社 5社（有限会社リアス海藻店・株式会社浜千鳥・三陸いりや水産株式会社・有限会社ヤマキイチ商店・有限会社小島製菓）が業界の垣根を越え、水産加工品の新商品開発とブランド化を行うことを目的として設立した任意団体 釜石六次化研究会が共同で取り組む「釜石オープンキッチンプロジェクト」に対するもので、高付加価値商品の開発、ブランディング活動、販路拡大、情報発信などに活用されます。

キリングroupは、東日本大震災の復興支援活動として、2011年に「復興応援 キリン絆プロジェクト」を立ち上げました。これまでの3年間で約 60 億円を拠出し、「絆を育む」をテーマに「地域食文化・食産業の復興支援」「子どもの笑顔づくり支援」「心と体の元気サポート」の3つの幹でグループ各社が一体となって展開してきました。

今回は、3つの幹の一つである「地域食文化・食産業の復興支援」として実施するものです。復興に貢献したいとの思いから、キリングroupの中でもキリンビール社が中心となり、食に携わる企業として“生産から食卓までの支援”をテーマとした農業や水産業に対する地域のニーズに合った支援活動を2014年以降も引き続き行っていきます。

水産業については、復興支援第1ステージとして、震災後から2012年まで、水産業の中でも「養殖業の復興」に取り組んできました。岩手県はわかめ、宮城県はかき、福島県は青のりを中心に、養殖再開に向けた養殖設備の復旧支援を行った結果、被災3県の養殖事業復旧のための支援総額は4億2,220万円となりました。

2013年からは、復興支援第2ステージとして、“生産から食卓までの支援”というテーマのもと、生産支援だけでなく、水産物のブランド育成支援、6次産業化に向けた販路拡大支援、将来にわたる担い手・リーダー育成支援などを展開し、今回の助成を含め、総額10億円の助成を行う予定です。

被災地の一日も早い復興を心より祈念するとともに、キリングroupとして、引き続き被災地の皆様の支援に尽力していきます。

キリングroupは、あたらしい飲料文化をお客様と共に創り、人と社会に、もっと元気と潤いをひろげていきます。

（本件お問い合わせ先）

キリン株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報担当
東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス TEL 03-6837-7028

（お客様お問い合わせ先）

キリン株式会社 キリンビールお客様相談室（フリーダイヤル）0120-111-560
キリンホームページ <http://www.kirin.co.jp>



笑顔で結ぶ。人を、日本を。